



770号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
 福会館5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール roren@kensu.jp  
 ホームページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



## 5月15日(水) 第10回 検数労連24春闘交渉 すべての地域から批准・一任を受け、24春闘については妥結を表明。 差額支給日は5月24日(金)を確認。

### 【第10回交渉】

前回の交渉で、組合は両協会に対し『現到達をもって機関手続きに入る旨を表明』。その後、各地域闘争委員会に対し今春闘全般に対する意見を募りました。

各地域からは、両協会に対し金額面では昨年比プラス回答であったこと。時間外基礎分母の1ポイント減。初任本給の増額などが評価面としてあげられました。逆に不満点としては総額的に世間相場や港湾相場からかけ離れた回答であることや、特に若年層への賃上げが低額であり、離職に繋がる恐れがあるとの声が上がっていました。

このような意見を踏まえ、第10回交渉では、妥結に至る態度表明として、次の事を主張して、次に控える夏季一時金闘争に繋げるよう主張しました。

### 【態度表明】

24春闘の妥結の態度表明にあたり、5月14日11時までに各地域からの意見を集約した結果、全地域から批准または一任を受け、24春闘要求全般については要求との関係で不満は残るものの現到達をもって『妥結』を表明する。

検数春闘は、2月15日の第1回交渉で要求提出以降、今日まで10回の交渉を重ねてきた。この間、両協会に対して『24春闘は諸物

価高騰に対抗できる生活防衛闘争であること』『労働環境整備に資する得意先への料金収受を強化すること』『検数事業の労働力定着及び確保に努めること』などを主張してきた。特に人員不足の中で奮闘努力している職場の切実な思いや生活実態を真正面から受け止めるよう繰り返し主張してきた。この職場の思いについては、『魅力ある検数労働の確立』に向けて来年度以降も引き継ぐものであり、両協会は今後一層の労働環境整備に向けた取り組みが決定的に重要になる。

春闘回答全般については、全国から様々な厳しい指摘や不満、落胆する声が多く出された。両協会に対する評価点では、前年比プラス回答、時間外基礎分母の計画的削減、初任本給の増額は一定評価する。不満点では、諸物価高騰に見合わない賃上げ額、将来不安を煽り、賃上げを抑制してくる姿勢、回答指定日の未提示、職場を守るための必要な人員確保が出来ていないなどの意見が出された。各個別に対する意見では、日検に対して、定期昇給の年齢による格差回答などに對する不満が出された。春闘全般では諸物価高騰から生活を守る賃上げ額には程遠い結果となった。

今後、両協会ともに『事業基盤II生活基盤』の安定に向けた取り組みを第一義

として、産別継続課題の履行、人員採用対策、人材育成などの課題の前進に向けた企業内での労使協議の実施を求める。また、2025年度から実施する65歳定年制度などの産別継続協議課題については、検数労連課題と位置付けて春闘終了後、可及的速やかに議論を進めて行くこととする。特に労働環境整備に資する原資確保に向けた取り組みについては、日港協と国交省の連名で港湾ユーザーに向け発表し、要請文書を活用させながら、労使共通の最重要課題と位置付け、通年の課題として取り組みを強く求める。同時に労使による検証作業が求められる。

### 【ライドシェア反対国会前抗議行動】

5月15日(水) 検数労連と共闘関係にある自交総連が主催する『ライドシェア反対国会前抗議行動』に参加してきました。



今年の4月から自家用車生活用法(日本型ライドシェア)が各地で実施されていますが、6月には規制改革推進会議の取りまとめが行われ、『ライドシェア新法の策定』が閣議決定されることも危惧されることから、今回の抗議行動を行いました。

抗議行動では、石橋中央執行委員長が交運共闘を代表してあいさつを行い、そのなかで、ライドシェアが解禁となり、タクシートの競争が激化すれば、中小零細事業者は、たちまち経営困難に陥り、廃業や倒産が増加し、更なる交通空白地を創り出すことは容易に想像ができる。

一方、ライドシェアについても低賃金や長時間労働が続けば運転手も減少していくこととなり、その結果、地域のタクシ産業は崩壊していくことは火を見るより明らかとなる。

国民生活において、なくてはならない産業については、企業任せにするのではなく、行政・自治体がスクラムを組んで予算確保も含めた施策を打ち出すことを強く求める。

まずは地域限定であっても産業破壊につながるライドシェアの即刻中止と、所管官庁である運輸局には更なる尽力を強く求める。と、力強い連帯のあいさつを行いました。

各地域闘争委員会のみなさん  
 長期におよぶ検数労連24春闘闘争おつかれさまでした。  
 またすぐに24夏季一時金闘争が始まりますので、引き続き  
 全国団結で頑張りましょう。

